

借金時計を置いているのは何故？

市の借金といえば、市役所には**借金時計**が置いてあるよね。たまにメディアにも取り上げられてるけど、松阪市の借金が報道されるのはちょっと恥ずかしいな。



そうね。実際に借金時計を市役所前に置いた市は松阪市が最初なんだけど、ホームページ上に掲載している市町村や都道府県は結構多いのよ。

松阪市が借金時計を置いているのは、大きく次の2つの理由からよ。

- ・市の職員が市民に借金を負わせて事業を行っていることを意識すること
- ・市民の方に、市の借金やひいては市の財政に興味を持ってもらうこと

たける君が市の借金について興味を持ったなら、少なくとも2つ目は成功してるってことね。

あんな目立つところに置いてあったら自然に意識するよ。でも、そもそも借金なんてしなければいいのに。



市が借金をするのは、きちんと理由があるのよ。たとえば学校を建設したらその後何十年も使うでしょ？ 建設するときの予算だけで建てるとそのときの市民だけが負担を負うことになって、その後の世代や引っ越してきた人は負担を負わずに使うことができる。それは不公平だから、**借金の返済を通して平等に負担しましょう**、という考え方で借りているの。

もちろん、利息分の負担は増えるし、将来返せるよう計画的に借りていかないといけないんだけどね。

借金時計の仕組み

※2012年10月17日に予定している数値

2012年4月1日時点の借金の残額
52,735,729 千円 (527億3572万9千円)



2013年3月31日時点の借金の残額見込
51,204,836 千円 (512億0483万6千円)

この1年間で約15億3089万3千円借金が減る予定です。
1秒平均では約49円減る計算になります。

$$\frac{1,530,893,000}{365(\text{日}) \times 24(\text{時間}) \times 60(\text{分}) \times 60(\text{秒})} \div 49\text{円}$$

平成24年度初めの残額から毎秒約49円ずつ引いていく計算を4月1日午前0時から3月31日の午後11時59分59秒まで続けると平成24年度末の残額見込になります。

実際の借金の増減は借入日・返済日にまとめて生じますが、1年間の平均で考えればどのように増減するかを計算し、表示しているのが借金時計です。



2012年10月17日昼に撮影した市役所前の借金時計
1秒ごとに約49円減って、3秒間で約145円減っています。

ホームページにも借金時計をのせています。ぜひ見てみてね！

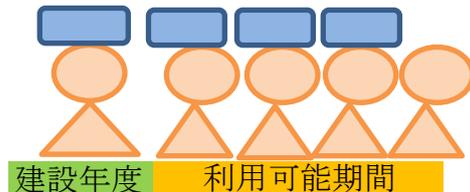
借金をする理由

大きな負担



負担なし

借金をせずに建設をする年の負担だけで建てる左のようなイメージに。
借金の返済を通して負担を分散します。



市の施設を使うことによって利益を受ける人が、みんなでその費用を負担するために借金をしています。もちろん、ほとんどの借金には利息が発生します。将来返していける額か、利息による負担増の部分も計算に含めて計画的に借りていく必要があります。